



▲スターターの号砲で一気に飛び出す選手たち

5年ぶり！子供たちの力走
登別15のぼりミニマラソン

5/19

5月19日、川上公園で登別こいのぼりミニマラソンが開催されました。登別こいのぼりマラソンは、本市のスポーツシーンの幕開けを飾るイベントとして毎年5月に開催されてきましたが、コロナ禍や運営スタッフの確保などの課題があり令和元年度を最後として中止に。今回、登別市子ども会育成連絡協議会の主催で新たにミニマラソンとして実施されました。参加した250人の選手たちは、公園内に咲くヤエザクラを眺めつつ、保護者や関係者などの声援を受けながら中止となった5年分の思いを胸にコースを力走していました。



▲前浜産の新鮮な海の幸を求める買い物客

前浜の幸を求め長い列
登別漁港朝市

5/25

5月25日、いぶり中央漁協や本市、白老町で構成する水産物消費拡大推進事業実行委員会は、前浜で漁獲した水産物を浜値で販売する朝市を登別漁港で開催しました。この日は、定置網で漁獲された春が旬のサクラマスをはじめマツカワなどのカレイ類、ソイなどが店頭に並び、9時の販売開始を待ちきれない多くの買い物客が店先に列をなし品定めをする様子が見られました。今回は7月13日(土)に登別漁港、8月3日(土)には白老港で、前浜の夏の味覚の代名詞毛ガニをメインとした夕市を13時から実施します。

観客の拍手が鳴りやまず
パシフィック・シヨークースコンサート

5/24

5月24日、市とのぼりべつ元鬼協協議会は米国空軍音楽隊による『パシフィック・シヨークースコンサート』を開催しました。このコンサートは、同音楽隊が本市の友好交流都市東京都福生市を拠点に活動していることが縁で開催されたものです。

当日、会場の市民会館は米国を代表するグリーンミラー直系のバンドの演奏を聴こうと多くのジャズファンが詰めかけ満員に。『茶色の小瓶』、『イン・ザ・ムード』など数々の名曲が奏でられ、演奏が終わるたびに観客から盛大な拍手と「ブラボー！」の声沸き会場内に鳴り響きました。



▲観客を魅了した同音楽隊の演奏の様子

ふるさと登別を全力で応援
札幌のぼりべつ会総会・交流プラザ

5/31

5月31日、本市のふるさと会の一つ『札幌のぼりべつ会』の総会・交流プラザが札幌市内で開催されました。

総会後の交流プラザでは、登別商工会議所と市から人口戦略会議が唱える消滅可能性自治体とされた本市について、どのようにこの事態を脱却していくのかを力説。説明を受け、札幌市近郊に在住する本市出身者からは、ふるさと登別が消滅しないよう全力で応援する約束をいただきました。その後の懇親会では、次回の会合を本市で開催する提案がされるなど、ふるさとを思う気持ちがあふれる場面も見られました。



▲脱消滅可能性自治体について力説する本市関係者